



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第50号 令和6年(2024年)3月1日発行



議員体験とまちづくりワークショップ

主な内容

- 令和5年第4回(11月)臨時会・第4回(12月)定例会…………… 2～3
- 一般質問と答弁…………… 4～15
- 議員体験とまちづくりワークショップ・3月定例会日程・編集後記…………… 16

令和5年第4回(11月)臨時会

会期 11月9日(1日間)

第4回臨時会は11月9日に開会し、先決処分2件と市長提出議案2件について審議しました。議案の主な内容については、以下をご覧ください。

【議案の主な内容】

○美祢市財政状況の公表に関する条例の一部改正について(専決処分)

美祢農林開発(株)が美祢観光開発(株)に吸収合併・経営統合したことに伴い所要の改正

○美祢市美東総合支所外建設工事の請負契約の締結について

高山産業・ユウエイ特定建設工事共同企業体が落札。8億6,240万円。

○美祢市秋芳総合支所外建設工事の請負契約の締結について

秋山建設・美祢工務店特定建設工事共同企業体が落札。9億4,292万円。

令和5年第4回(12月)定例会

会期 11月29日～12月20日(22日間)

第4回定例会は11月29日に開会し、報告1件と令和5年度の補正予算や条例改正など、市長提出議案24件について審議しました。このうち人事院勧告に関連する議案7件については、議会初日(29日)に可決しました。

議案の主な内容については、以下をご覧ください。

【議案の主な内容】

○損害賠償の額を定めることに関する専決処分について

道路の陥没によるタイヤの破損事故に伴い損害賠償の義務が発生したため

○美祢市一般会計補正予算(第6号)

人事院勧告に準拠した職員等の給与改定および人事異動等に伴う人件費の調整、災害復旧事業に係る経費の補正等

○美祢市国民健康保険税条例の一部改正について

被保険者の産前産後期間に国民健康保険税を減額する基準を定める条例の一部改正

○美祢市企業立地奨励条例の一部改正について

指定業者の指定要件の緩和と優遇措置の拡大を図り、新規企業の誘致や既存企業の設備投資等の促進を図るための所要の改正

○指定管理者の指定について

地域交流ステーション(於福、厚保)、伊佐児童クラブ、秋芳八代ぬくもりの里交流センターの指定管理者の指定

○美祢市一般会計補正予算(第8号)(追加議案)

物価高騰の影響を受けている全市民に3千円の商品券配布

物価高騰対応重点支援のため、住民税非課税世帯に7万円給付

※いずれも令和6年2月下旬をめどに実施されます。

■第4回(11月)臨時会議決結果

●は全会一致で可決(承認)

専決処分の承認(2件)

- 美祢市財政状況の公表に関する条例の一部改正
- 美祢市上下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

その他(2件)

- 美祢市美東総合支所外建設工事の請負契約の締結
- 美祢市秋芳総合支所外建設工事の請負契約の締結

■第4回(12月)定例会議決結果

●は全会一致で可決(承認)、○は賛成多数で可決

専決処分の承認(1件)

- 損害賠償の額を定めることに関する専決処分

令和5年度補正予算(12件)

- 一般会計補正予算(第6号)
- 一般会計補正予算(第7号)
- 一般会計補正予算(第8号)
- 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 環境衛生事業特別会計補正予算(第1号)
- 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
- 水道事業会計補正予算(第2号)
- 下水道事業会計補正予算(第2号)
- 観光事業会計補正予算(第1号)

条 例(6件)

- 美祢市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
- 美祢市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
- 美祢市職員定数条例の一部改正
- 美祢市国民健康保険税条例の一部改正
- 美祢市企業立地奨励条例の一部改正
- 美祢市営住宅条例の一部改正

そ の 他 (6件)

- 美祢市地域交流ステーションの指定管理者の指定(於福地域交流ステーション)
- 美祢市地域交流ステーションの指定管理者の指定(厚保地域交流ステーション)
- 美祢市児童クラブの指定管理者の指定
- 美祢市秋芳八代ぬくもりの里交流センターの指定管理者の指定
- 美祢市へき地保育所の指定管理者の指定
- 下関市・美祢市消防通信指令事務協議会を設置する普通地方公共団体の増加及び下関市・美祢市消防通信指令事務協議会規約の変更

JR 美祢線災害復旧対策調査特別委員会

1 開催状況と主な調査内容

- (1) 令和5年9月28日に第1回特別委員会を開催し、正副委員長の互選が行われ、村田弘司委員長、石井和幸副委員長が選出されました。
- (2) 令和5年11月29日に第2回特別委員会を開催し、今後の調査内容について確認を行い、それを受けて令和5年12月13日の第3回特別委員会では、地域振興課から(1)JR美祢線の被災状況、(2)JR美祢線災害復旧対策室の動向、(3)代行バスによる運行状況、課題等についての報告を受けました。

また、陳情や意見書の提出など、災害に関連した議会のこれまでの動向について村田委員長が報告を行いました。

JR美祢線は市民の日常生活を支える移動手段にとどまらず、まちづくりや観光振興に重要な役割を担っていることから、その果たすべき役割が引き続き堅持されるよう、調査、検討を行ってまいります。



JR美祢線被災状況



(みらい)
藤井 敏通 議員

1 美東地域における教育環境整備について

問 美東小中学校運営協議会から要望の「施設一体型美称市立小中一貫教育校美東小中学校」の交渉経緯と結論についてお伺いします。

答 できるだけ早い時期の小中一貫教育校美東小中学校の実現を目指し、まずは、3つの小学校(大田、綾木、淳美)を統合し、大田小学校の校舎を活用した新たな小学校を令和7年4月に開校することで合意しました。

問 その場合の立地、カリキュラム、組織はどうなりますか。

答 立地については、既存の美東中学校の校舎を活用し改修・増設等を行うことを考えております。子ども主体の学校づくりや情報化、国際化への対応を意識したカリキュラム作成を準備していく必要があると考えております。

校長は1人、職員室も1つにする方向で考えております。

問 綾木小学校、淳美小学校の跡地利用はどのようにお考えですか。

答 体育館や運動場は、地域の体育館、多目的広場として設置管理を行ってまいります。校舎につきましては、地域の皆様に意向の取りまとめをお願いしておりますが、意向がない場合は、市において利活用を検討してまいります。

問 大田保育園、真長田保育園の今後についてお伺いします。

答 大田保育園は、園舎の建替えを予定しており、更なる保育サービスの検討を行うことになっております。真長田保育園については、保護者や地域の皆様と協議し方針を決定する予定です。

問 小中一貫教育も重要ですが、幼児期からの地域全体で子どもを育てるという幼保小中一貫教育がまちおこしにもつながり、素晴らしい政策だと思いますが、いかがでしょうか。

答 幼稚園・保育園と小学校、あるいは小中学校の連携やつながりは、子どもたちの育成にとって重要な要素であり今後ぜひ推進してまいりたいと思っております。地域全体で見守り育てるという観点から地域総がかりで幼保小中の連携を推進してまいりたいと考えております。

2 農業政策の地域計画の策定について

問 地域計画策定の進捗と今後のスケジュールについてお伺いします。

答 8月以降農業委員会及び農地利用最適化推進委員が中心となって、目標地図の素案作成に向けた取組をしております。11月には、主要農業者にアンケートの協力をお願いしており、ヒアリングを通じて今後の方向性や世代交代などの意見交換を実施しております。今後は、農業委員会や農地利用最適化推進委員が中心となり、来年1月以降地域ごとに協議の場を順次設ける予定です。その場で具体的な地域計画案の策定に向けた取組を進めてまいります。

問 地域計画の策定に当たり一番のポイントは、地域での話し合いだと考えますが、行政としてどのようにお考えですか。

答 地域農業は、持続が危ぶまれるところであります。解決する方法として、地域の農業者同士が直接話し合う場を設けることが有効と考えます。地域の農業者同士の話し合いや協力を効果的に進めるにはJA、行政等が農業者との連携を強化することにより交流機会が広がるものと考えます。



大田保育園



(無所属)
な お の とも か ず
猶野 智和 議員

1 クマ出没対策について

問 県・市内のクマによる人身被害についてお尋ねします。

答 山口県における人身被害は、直近では令和2年度に1件、令和4年度に1件発生しています。本市においては、令和元年5月に1件発生しています。

問 近年の生息数及び分布域の変化についてお尋ねします。

答 県におけるクマは、広島県及び島根県を含む西中国山地ツキノワグマ地域個体群に分類され、絶滅が懸念されたことから国が狩猟を禁止し、平成15年度に3県合同で第一種特定鳥獣保護計画を策定して保護政策が行われてきました。令和4年からは、第二種特定鳥獣管理計画へ移行されました。

現在、本個体群の推定生息数は約1,307頭とされており、分布域の面積が拡大していることもあり、増加傾向であるものと推察されます。

問 クマによる人身被害を防ぐための施策についてお尋ねします。

答 目撃情報があった場合、まずは現地確認を行い、速やかに警察及び県と情報共有を行い、併せて防災行政アプリ、安全・安心メール等により周知を実施します。

また、同一の地域内において、10日以内に5日以上熊の出没があり、人身被害発生の恐れがある場合、県が熊出没警報を発令します。

発令後は、県が関係機関を集めて緊急対策会議を開催し、周知と注意喚起の強化、猟友会により組織された熊レンジャー隊の出動要請、及び捕獲に向けた対策などを実施します。

2 秋芳総合支所周辺地域のまちづくりについて

問 令和6年度以降の本地域のまちづくりについてお尋ねします。

答 まちづくりの事業につきましては、ワークショップでの意見を踏まえ、事業費の平準化に努めながら計画的に進めたいと考えています。

役場跡地は市民要望の強かった広場や公園として整備を進めたいと考えております。

現在は商業機能等の確保に向け、地域及び民間主導により、秋芳地域の活性化についての検討が進行中と伺っていますので、取組内容が決まり次第、市として可能な範囲で支援や協力を行いたいと考えています。

3 秋吉台科学博物館の整備推進について

問 秋吉台科学博物館の整備推進についてお尋ねします。

答 令和4年6月に美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会を設置し、秋吉台科学博物館の建替えを含めた構想策定について協議を始めたところです。

今後、展示内容の構成や施設構成、周辺施設と連携した事業活動、管理運営体制、収支計画、建設予定地などについて協議を行います。

4 美祢高等学校跡地の活用について

問 美祢高等学校跡地の活用についてお尋ねします。

答 例年11月に実施される県知事への予算要望において、美祢高等学校跡地が適正に維持管理されるよう、継続的に申入れを行っています。

市では、引き続き、県の動向を注視するとともに、利活用の促進と適正な維持管理について求めてまいりたいと考えています。



(純政会)
あきえだ ひでとし
秋枝 秀稔 議員

1 市の職員組織運営の現状と課題について

問 市民と市長と職員との総合力で市の振興が図れます。特に職員の働きが市の振興にとって重要な要素と考えます。公務員は法律に基づき仕事をしていますが、法律は増え続け、逆に職員は減少し負担が増えています。達成感のない仕事に忙殺され、疲弊している部署も多いと感じます。近年の途中退職した職員は何人か、慰留されたかお尋ねします。

答 自己都合中途退職者は、令和2年度から令和5年度までに12名います。慰留は当然しておりますが、本人の意思を尊重し、新たな道に進まれることを応援するほかないと考えます。

問 退職原因を行政運営に生かして、よりよい職員制度を考える機会にするべきではないと思いますが、どういう対応をされていますか。

答 自治体組織も含めて、日本企業のこれまでの家庭型組織は成り立たなくなっているとも言われております。職員が力を発揮でき、安心して職務に専念できる職場環境づくりや魅力ある組織であれば、いい人材も集まるといふふうに考えています。

問 職員の採用試験における応募状況と試験の実施内容、採用に至る判断基準について、お聞きします。

答 概ね35名前後の応募がある状況であり、保健師などの資格職や土木技師、行政一般事務の社会人枠の応募が少ない状況です。採用の判断基準については、一次試験では筆記試験、二次、三次試験では、集団討論試験と個別面接試験を実施しており、人物重視の採用に心がけております。

問 職員が生き生きと輝いて仕事を進めれば、同じように地域が輝き、地域の活性化にもつながりますが、その期間は長くはないと思います。組織の活性化のための取組についてお伺いします。

答 人事評価制度、人事異動、人事交流及び外部人材の登用に加え、令和3年度の班制度導入により、課内での柔軟な人員配置、指揮・命令システムの迅速化、班長となる職員の人材育成など、組織の活性化に一定の効果が得られたものと感じています。

問 職員も厳しくとも力いっぱい働ける環境を望んでいるのではないのでしょうか。人事制度だけでなく、さらにモチベーションの上がる制度の試行錯誤、朝令暮改を繰り返していかない限り、組織運営も半端なものとなります。職員組織制度の改革に係る検討会とか研究会に近いものをつくってはいかがでしょうか。

答 一口に職員組織制度といいましても、人事制度、勤務制度、雇用制度など多岐にわたり、漠然と研究会や検討会を立ち上げて、よい結果が生まれるとは考えておりません。

問 45歳で採用入職しても20年間活躍できます。新卒採用だけでなく中途採用を積極的に広げていったらいかがでしょうか。

答 近年、採用年齢制限が緩和されている傾向にあり年齢制限を緩和しながら対応したいと考えております。



本庁舎1階の様子



(公明党)

おかやま
岡山 たかし
隆 議員

1 公費制度がある子宮頸がん予防ワクチン接種に関して

問 子宮頸がん予防ワクチンは、パピローマウイルスの感染を予防するワクチンです。多くの女性が一生に一度は感染すると言われています。小学校6年生から高校1年生相当の女子に公費接種が行われます。しかし、予防接種が進んでいないことから子宮頸がんの罹患率、死亡率ともに増加しています。子宮頸がん予防ワクチン接種率低迷にある背景についてお伺いします。

答 平成21年10月に始まったワクチン接種は、小学校6年生から高校1年生の女子を対象に実施していましたが、接種後に接種部位の痛みや腫れ、副反応等の発生報告がありました。平成25年6月の厚生労働省通達により、積極的な予防ワクチン接種の勧奨が差し控えられた期間があったことが影響しています。

問 令和4年4月1日から令和7年3月21日までの期間として、キャッチアップ接種が実施されています。公費接種を受けるためには、期間内に3回目接種を終える必要があり、遅くとも令和6年9月には初回の接種を受ける必要があります。現在の初回接種率及び積極的勧奨についてお伺いします。

答 子宮頸がん予防接種の積極的勧奨が再開された令和4年度の初回接種の実績は、対象者が365人に対して接種人数は42人、接種率は11.5%です。令和4年度で3回目の接種が完了する対象者1,125人に対して接種人数は125人、接種率は11.1%です。令和4年4月以降、対象者本人と保護者宛に接種券を郵送する接種勧奨を行い、ホームページ等、広報活動を実施しています。

2 がん検診受診率低迷への抜本的対策に関して

問 がん検診受診率は山口県が全国最下位であり、令和4年度において、美祢市では胃がん検診受診率が2.2%で、対象者16,499人に対して検診者は369人です。大腸がん検診受診率は10.6%、前立腺がん検診受診率は2.9%です。がん検診を受けない理由として、めんどうだから、忙しいから、自分は大丈夫、怖いからなど、自分の弱さに負けています。がん検診受診率向上への抜本的対策についてお伺いします。

答 近年、がんは早期発見、早期治療で完治することが多くなりました。5年以上生存率は約6割とも言われており、がん検診の果たす役割が重要となっています。集団検診については、検診実施期間の2週間前に送付しています。受診率の上昇につなげた事例を分析し、受診者数の増加に向けて努力していきます。

3 美祢社会復帰促進センターにおけるセンター生の出所後の生活支援に関して

問 平成19年4月、美祢社会復帰促進センターの運用が開始されました。センター生における教育訓練で、パソコン活用教育、猫ちぐら製作、介護施設で働くことができるように介護訓練、及び資格の習得等、出所後の生活支援に尽力されています。出所後、市内に居住する際、居住確保等の支援についてお伺いします。

答 出所受刑者の2年以内再犯率は、全国平均が15.1%であるのに対し、センター生は男性3.8%、女性5.5%、全国平均と比較して低くなっています。本市での生活を希望するセンター生の出所後、居住確保支援に当たっては市内で寮などをお持ちの事業者との連携、市営住宅の活用等、市内外の関係者と協力し、市でできる取組を実施してまいります。



猫ちぐら



(純政会)

つばい やすお
坪井 康男 議員

1 市職員のミスによる賦課漏れ・課税誤りの責任問題について

問 徴収できなくなり、損害を受けた総額と市及び県の損害額の内訳について、お尋ねします。

答 美祢市の損害額は合計163万4,884円です。内訳は、市県民税増額分99万1,100円、減額分3万8,643円と国民健康保険税や後期高齢者医療保険料や介護保険料等の関係料の損害額の合計は60万5,141円です。このことにより県民税として収納できない額は65万8,900円です。

・損害額総合計は、229万3,784円です。

問 執行部は3つの異なる数字を示しています。①懲戒処分、記者発表で235万9,306円、②予算決算委員会165万円、③予算決算委員会での訂正発言163万4,884円です。損害額の変更と原因、理由をお尋ねします。

答 ①は賦課権消滅に係る金額、174万7,157円、国保税・後期高齢者医療保険料、介護保険料などの関係税・料の61万2,149円を加算したものです。

②は市県民税の増額分165万円です。本来は納税者に賦課するものですが、賦課権が消滅し、賦課することができませんでした。

③は市民税分の損害額99万1,100円に減額還付すべき金額の3万8,643円と国保税や後期高齢者医療保険料、介護保険料の損害額分の605,141円の合計で163万4,884円となっています。

問 市長は、予算決算委員会(10月5日)の総括審査で「時効消滅額は165万円で、市の損害額は99万1,100円です。当該職員の自主弁償額は99万1,100円です。」と答弁されています。

さらに「当該職員から、自主弁償の申出があり9月8日に163万4,884円が弁償された」と答弁されています。この内容が異なる理由についてお尋ねします。

答 市県民税の増額分165万円は、市民税分と県民税分に区分することができ、市民税分の損害額が99万1,100円でした。163万4,884円は、99万1,100円に減額分の3万8,643円と関係税料60万5,141円がプラスされた内容であることから、そのように、ご答弁したところでです。

問 監査結果は必要な措置を講じるというものでしたが、損害賠償責任の履行手続きの行政文書が一切ありません。民法709条の規定は、不法行為による損害賠償を定めたもので、「故意または過失によって他人の権利または法律上保護される利益を侵害したものは、損害賠償をする責任を負う」という規定があります。今回のように損害賠償責任が生じ、その損害賠償責任を追及し、損害賠償請求権が発生すれば当然請求すべきです。市長は「あくまで請求するという規定ではない」と答弁されています。このような解釈の法的根拠をお示し下さい。

答 確かに条件がそろった場合には民法709条の規定により、損害賠償が発生すると考えます。これを行使するか否かは別途判断することになります。今回は当該職員から弁償の申出があり市の損害額と同額が支払われたため、請求は行いませんでした。なお、163万4,884円の弁償額については弁護士と協議の上、算定しました。

2 「衛生センター」の「浄化センター」への統合案・一本化案について

問 同様な機能を持つ「美祢市浄化センター」に一本化する方針案について執行部の見解をお伺いします。

答 計画を抜本的に見直すのであれば、国の認可を受け、設備改良工事に係る契約を締結しているため、解除手続きが必要であり、契約解除する場合には相当の損害賠償を求められることが、想定されます。ちょうど15年後が2つの施設の更新時期となりますので、その時に向け鋭意検討させていただきます。



(みらい)

むらた ひろし
村田 弘司 議員

1

第2次美祿市総合計画前期基本計画最終年度に向けて

問 平成6年度当初予算は通常予算として組まれるのか、もしくは今年市長改選がある事をふまえ、人件費等の義務的経費を主体とする骨格予算にされるのかお尋ねします。

答 人件費、公債費、扶助費などの義務的経費に継続費等を加えた骨格予算とする考えです。

問 骨格予算といえども通常予算に相当する年間の包括的な予算を構築し、そのうえで政策的部分を削ぎ落とし、骨格予算として示されるのかお伺いします。

答 年間の収支バランスを確認する必要があるため政策部分を含めた全体像を一旦取りまとめたうえで、骨格予算とします。

問 令和6年度は第2次美祿市総合計画の理念を実現するための基本計画前期5年の最終年度にあたりと同時に、後期基本計画策定の為の大変重要な年であると思うが、市長の認識をお尋ねします。

答 令和6年度は後期基本計画等策定準備と併せて、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定準備のため、また同時に前期計画策定時からの状況変化をふまえる必要のある非常に重要な年と認識しております。

問 県が発表している人口移動調査によると、市町合併時の平成20年には29,010人だった本市の人口は、令和5年度では21,409人になってます。これは毎年平均500人超の人口が減っているという大変な状況だと思います。

こうした中、後期基本計画で市民の方に希望を持っていただく施策をどのように示そうとしておられるのかお伺いします。

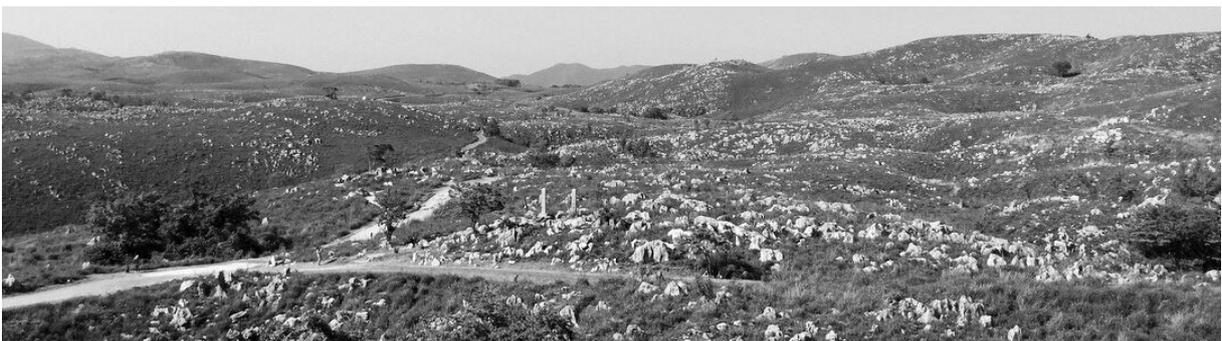
答 人口減少を緩やかにする取組を強化し、高齢者を含めた地域の限られた活動人口をどのように維持していくか、また全世代が助け合う仕組みづくりや、自信と誇りを感じる施策を打っていく必要があると考えています。

問 後期基本計画を構築するにあたり、基本構想理念を具現化するための具体的な施策、思いを再度お伺いします。

答 総合計画策定審議会に基本構想実現のための施策を諮問させていただいているので、そちらから答申が出てくると考えております。



第2次美祿市総合計画





(日本共産党)
三好 睦子 議員

1 高校生のジオバス、及びあんもないと号の運賃無償化について

問 令和5年10月から、中学生以下の児童生徒はジオバス、あんもないと号の運賃が無料になりましたが、高校生は無料にならないか、お尋ねします。

答 通学にあんもないと号を利用する生徒の世帯の経済的負担軽減を図ることは、市内高等学校に通学しやすい環境の向上につながると考えます。しかし、他の路線バスで通学する生徒やスクールバスを出されている成進高等学校との公平性も考慮する必要があります。高校生の運賃の無償化については、持続可能な公共交通ネットワークを形成していく中で検討したいと考えています。

2 地域循環型経済の取組について

問 地元農産物の学校給食の活用状況についてお尋ねします。

答 令和4年度は、山口県農業協同組合美祢統括本部から無償で提供していただいた秋芳梨のほか、厚保くり、大根、白菜、美東ごぼう、米、秋吉台高原牛など15品目の食材を利用しています。品目ベースで山口県産85.2%、そのうち美祢産32.5%となっています。

問 有機農産物について、アグロエコロジーとは生態系を生かした持続可能な農業です。栽培方法だけでなく、日本の農業の在り方、農業再建の道にも深く関わるもので、環境を破壊せず、持続性、永久性を確保するものです。美祢市ではこの有機農業とアグロエコロジーについて、どのようにお考えでしょうか、お尋ねします。

答 アグロエコロジーについては、自然の生態系に沿って、また、活用した農業を目指すことであり、現在、基準や実践方法については特に定めがないことから、その中には、有機農業が含まれるものと考えられています。

令和4年6月に策定した美祢市有機農業推進計画は、自然環境に配慮しながら、有機農業に向けた土台づくりの機運を醸成し、有機農業の一層の理解・促進で裾野を広げるものです。生産現場の実情を踏まえ、生産性との調和などに留意し、土づくりや新技術等を通して、化学肥料・農薬の使用等による環境負荷の低減に配慮した持続的な農業、環境保全型の農業を目指すものであり、有機農業もその形態の一つと考えています。

3 滞在型観光の必要について

問 最近は秋吉台を活用したイベントが多く企画され、観光客にお越しいただいています。通過点でなく、滞在していただき、秋吉台の四季の魅力を十分に味わっていただきたいのです。残念ながら、今、台上のホテルが使えませんので、秋吉台上にテントを設営して、すぐに宿泊できるサービスを提供してはいかがでしょうか。観光客は設営も収納もしなくてすむサービスです。近くにグランピングや家族旅行村、民宿もありますが、それぞれ特色があつて魅力的です。いろいろな選択肢があつていいのではないのでしょうか。お考えをお尋ねします。

答 宿泊施設の整備に課題があり、滞在型観光が充実していないことは認識しています。着地型観光を推進することで、滞在型観光につなげていきたいと考えています。





(無所属)

すぎやま たけし
杉山 武志 議員

1 本庁舎等建設整備について

問 秋芳、美東総合支所の建設に係る契約の締結が議決されましたが、この工事は、市長の意向により1年間先送りされております。再度、先送りした理由をお聞かせください。

答 総合支所外整備事業の財源として予定しておりました合併推進債の適用期間が延長されました。資金融通や資金調達の観点、そして、財政負担の平準化を図ることができると判断し、加えて令和3年2月の美祢市商工会からの地元業者の受注機会の増加に関する要望を受け、地元経済への波及効果などを総合的に勘案した結果、スケジュールを見直す判断に至ったものです。

問 契約されるにあたり、令和3年1月に出された金額より、それぞれ2億円、合計4億円程度加算されたものとなっております。その一部は、対象外であった外構等工事と災害対策としての太陽光発電設備ではありますが、美東総合支所では1億1,970万円、秋芳総合支所では1億3,200万円が物価上昇により高くなっています。1年先送りしたこと、負担の平準化により2億5,000万円近くの市民負担が増加した結果となっております。

これは、11月1日現在の10,583世帯で割るとしますと、1世帯2万3,622円の負担を負わせたこととなります。人為的に1年先送りされたことによる影響と私は受け取っています。令和3年3月にはウッドショックが始まっており、物価上昇の兆しが見えているのに1年先送りされました。令和4年には、本庁舎建設に係る物価が上昇し、令和5年5月に工事請負金額の変更8,800万円が提示され、議決されています。

厳しい言い方をしますが、物価上昇が予測される中、1年先送りされたことは、平準化のために市民の負担を増加させた施策ではないでしょうか。

市長の責任と、これに対するお考えをお伺いします。

答 スケジュールを変更した間に、総合支所庁舎ほか整備に関する市民ワークショップを併せて開催し、市民の皆様が新たな施設の多様な活用を具体的にイメージされ、利用しやすい施設となるよう意見を出し合い、その内容を可能な限り実施設計に反映させています。より活用しやすい施設が構築できたことは、有意義ではなかったかと考えています。

先ほど、確かに物価高騰の影響を受けて1年の時期をずらしたということもあるわけですが、これについては、一度に本庁舎の整備と総合支所の整備の支払いがなかなか難しい状況にあることから、1年スケジュールを変更させていただいております。

問 まちづくりの方向性と進捗についてお尋ねします。秋芳、美東においては、まちづくりと並行した総合支所の建設を進められましたので、周囲のまちづくり構想は固まっておりますが、それ以降まちづくりに向けた行政の動きは見られません。一体やる気はあるのでしょうか。

答 秋芳総合支所については解体工事の実施設計業務を行い、実施設計終了後に解体し、跡地には要望を多くいただきました広場など、公園として整備を行っていくよう考えております。

地域の皆さんの出された意見、地域課題に対応しつつ、まちの機能を維持し、地域特性に応じた魅力ある土地利用や整備を推進してまいりたいと考えております。



秋芳総合支所イメージ図



(純政会)

やまなか よしこ
山中 佳子 議員

1 篠田市長の選挙公約から見る4年間の成果について

問 ここ数年の著しい人口の減少で、市民の暮らしに対する満足度は大幅に下がっていると痛感しますが、政策面で足りない部分は何だったのでしょうか、お尋ねします。

答 晩婚化、未婚化が加速する現代において、人口の減少は出生数の減少が大きな要因です。ここで育った女性、若い女性を取り戻せていないというのが実情であり、課題を整理し対応してまいりたいと考えています。

問 荒廃・遊休農地の増加と農林業分野における人手不足、後継者不足についてどのように取り組んでこられたか、この現状をどのようにお考えかお尋ねします。

答 農業法人をはじめ多くの農業従事者の高齢化が進み、今後の農業について不安視されているという声は多くの方からお聞きしています。そのような中、農地を次の世代に引き継ぐため、地域計画策定に向けた取組を着実に進め、農業振興に力を入れてまいりたいと考えています。

問 観光PRについて、秋吉台上にWi-Fiがあれば、若い人たちは撮った写真・映像をその場ですぐ知人や友人に送ることができ、PR効果が期待できるのではないかと思います、いかがでしょうか。

答 現在秋吉台のWi-Fi環境は、秋吉台カルスト展望台、カルスター、秋吉台科学博物館、秋吉台家族旅行村の施設内のみ利用可能となっています。

Wi-Fi環境を整備するためには、電力供給会社やインターネット通信会社の電柱、専用ケーブルを秋吉台上に設置する必要があります。その設置には莫大な費用がかかることに加え、秋吉

台の保護の観点、景観の観点、山焼きによる損失の恐れなど課題が多く、整備することは今時点では難しい状況です。

2 企業誘致推進事業について

問 令和4年度事業において市は、国のデータセンター地方拠点整備事業費補助金の採択を受け、美東町十文字原の候補地特性調査と企業ニーズを行っています。その2分の1は国からの補助金、残りの2分の1の約900万円は一般会計より拠出されています。どのような調査を誰が行ったのかお尋ねします。

答 候補地特性調査は電力インフラ及び通信インフラや交通アクセスの現状、土地利用の状況、自然条件及び法規制の調査、想定可能な広域災害に対するレジリエンス調査、土地利用の概略を踏まえた概算事業費の算出等を行っています。また企業ニーズ調査の業務は、国内の様々なデータセンター事業者を対象にアンケート調査やヒアリングを行っています。

問 今回のこの事業、調査業務は県外の会社、データセンターも来ないということは、市としては何のメリットもなかったということになります。見通しの甘い予算執行だったと言わざるをえません。お考えをお尋ねします。

答 十文字原総合開発事業用地は今後も引き続き、国や県との連携の下、利活用の検討について取り組んでまいります。

3 「ゆたかなまちづくり基金」の活用について

問 美祢市は令和4年度末で約58億円の基金があります。その中に「ゆたかなまちづくり基金」というものがあり、幅広くまちづくりに活用できるのではないかと思います。新秋芳総合支所周辺のまちづくりに活用できないでしょうか。

答 この基金は合併前に旧市町が保有していた「ゆたかなまちづくり基金」をベースに設置した基金です。必要な施策については、目的に沿って有効に活用していきたいと思えます。まちづくりに関しましては今後、財源として活用せざるをえないと考えています。



(無所属)

 やました やすのり
山下 安憲 議員

1 食を通じて暮らしと健幸を支えるまちづくり

問 新たな学校給食センターの配食を、大人にも提供できないか、お尋ねします。

答 給食センターにはレクチャールームがあり、そこで学校給食を試食いただく機会を設けていきたいと考えています。

問 廃校等を使って、水耕栽培による給食等食材の安定供給について、お尋ねします。

答 費用は高額ですが、年中一定の生産が期待できます。未利用地活用としては、美東の大田事業用地があります。

問 みね健幸百寿プロジェクトの進捗状況をお尋ねします。

答 市立2病院ではアンケートを実施し、データを収集、小中学校ではがん教育、その他イベントを実施するなど、様々な角度から市民の健幸寿命の延伸に取り組んでいます。

2 人が集まる魅力ある教育のまちづくり

問 小中一貫校というものの教育委員会のお考えを端的にお願いします。

答 一人一人の子どもの良さや可能性を伸ばし、教員も働きたいと思える、保護者や地域も応援したくなる、結果として、人が集まる、選ばれる学校の姿に近づくと考えます。

問 高校生が美祢に残りたいと思うよう、行政の仕事と一緒に出来ないか、お尋ねします。

答 企画立案型のインターンシップの検討、また美祢市探求プロジェクトの継続で、高校生に選ばれる美祢市となるよう、積極的に

支援したいと考えます。

問 秋芳町に大学誘致できないか、お尋ねします。

答 ただいま本市は、スポーツ合宿誘致を進めていますが、可能であれば、大学誘致活動を展開したいと思います。

3 行列のできる観光資源を生かしたまちづくり

問 位置情報ゲームアプリを使った集客について、お尋ねします。

答 位置情報ゲームアプリの詳細調査を行い、観光事業にとって有益か検討したいと思います。

問 十文字原総合開発事業用地の、現状でのモータースポーツ等への貸し出しについてお尋ねします。

答 人工的に造成されていない自然状況を強みに、集客力の高い効果的な活用方法を見いだしたいと思います。

問 美祢線イベントをどんどん追加し、復興機運を高める施策についてお尋ねします。

答 復旧に向けた機運を高めるためにも、その方策について検討したいと思います。

問 美祢魅力発掘隊が、契約期間満了後もずっと美祢に暮らせるような施策をお尋ねします。

答 任期満了後、自ら創業される場合、国さらに美祢市商工会の補助が活用できます。創業されない場合も、市内就労に向けた必要な支援を行います。



JR 美祢線



(無所属)
 たはら よしひろ
田原 義寛 議員

1 美祢市の水害対策について

問 遊水地及び田んぼダム^①の設置についてお尋ねします。

答 遊水地からの流量調整、河川に隣接した用地、底地の利用、維持管理、田園風景の創出、動植物への影響などから、本市の河川に適しているかどうか、専門的知見を交えながら、山口県宇部土木建築事務所等の関係機関と協議します。田んぼダムの設置については、水位上昇で、畦畔の崩落となる農地災害のリスクもあることから、場所、条件等を見極める必要があります。地域が一体となり、田んぼダムの取組を検討される場合、市としてどのような支援ができるのか、検討したいと思います。

問 多くのソーラーパネルが水害を受けましたが、設置場所についてお尋ねします。

答 設置する場所によって、ソーラーパネルの一部が河川に流出したり、発電施設がある斜面が崩壊することもあります。設置を検討する場合には、洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップなどにに基づき、危険エリアの情報等をお伝えしますので、建設課まで御相談ください。

2 秋吉台の環境保全について

問 長者が森周辺のセイタカワアダチソウの対処についてお尋ねします。

答 セイタカワアダチソウは、長者が森周辺では、旧育成牧場を中心に繁茂が目立っています。周辺は、トレッキングやトレイルランニング、セグウェイ、気球など秋吉台上のアクティビティが体験でき、多くの観光客が訪れるエリアで

す。今後は、庁内関係部署及び関係機関と協議を行い、可能な限り対策を講じたいと考えます。

問 シカの食害対策についてお尋ねします。

答 野生鳥獣による被害対策の基本は3つの対策を実施することです。① 防護対策で鳥獣の侵入防護柵を設置し、物理的に侵入を防止する方法、② 生息地管理は、草刈り等による援衝帯設置と併せて、隠れる場所を取り除き、心理的に防止する方法、③ 捕獲対策は、わな及び銃を用いて、加害個体となる鳥獣を捕獲する方法です。

秋吉台は、面積が1,000ヘクタールを超え、周囲を森林に囲まれており、3つの対策をくまなく実施するのは限度があります。ただ、個体数を減少させる施策を地道に継続することが、被害の減少につながると考えます。

問 絶滅危惧種「オオウラギンヒョウモン」の保護についてお尋ねします。

答 レッドデータブック山口2019によるとオオウラギンヒョウモンは、本州では秋吉台に限り生息しています。保護のためにどのような対策が必要か、山口県自然保護課と連携し調査・研究をしたいと考えています。



オオウラギンヒョウモン

3 美祢市のデジタルトランスフォーメーション(DX)の取組について

問 デジタル住民票(NFT)の効果についてお尋ねします。(デジタル住民票: 市外の住民に有償で「電子住民票」を発行し、地域づくりに参加できる権利や特典を付与する。)

答 デジタル住民票の販売は、開始2分で所定の2,000個を超える申込みがあり、抽せん販売となりました。デジタル住民票の特典サービス利用状況は秋吉台の入洞が43件、養鱒場釣り堀の釣りざお利用が35件等、全国から多数ご利用いただいています。デジタル住民票保有者が、本市のイベントに参加や企画するなど、応援することで関係人口が増え、将来的には移住・定住人口が増えることを期待して取組を進めています。



(新国会)

たかぎ のりお
高木 法生 議員

1 農業振興について

問 多面的機能支払交付金事業の取組、及び耕作放棄地の発生防止の取組についてお伺いします。

答 令和5年度の取組状況は、26組織1,489ヘクタールで取組が行われ、近年、構成員・取組面積ともに若干の減少が見られます。具体的な取組は、活動計画書に位置付けた農用地、水路、農道等について、点検や確認を行い、軽微な補修を行うことにより、農業施設の長寿命化に寄与しています。さらに、獣害防止柵等の設置、その後の維持管理により、農用地、水路、農道等の保護にも貢献しています。

今後も、関係機関と連携を図りながら、事業の推進に努めたいと考えています。

また、耕作放棄地の発生防止については、中山間地域等直接支払交付金及び多面的機能支払交付金に係る地域の協定、組織による活動が効果があると思われまますので、これらの取組を引き続き推進したいと考えています。

2 文化の振興について

問 秋吉台国際芸術村について、県は令和元年8月、利用者低迷を理由に、行財政改革の一環として施設の廃止、あるいは美祢市に委譲の方向で検討することを発表しましたが、翌年、県地方財政改革協議会は、当面の廃止等の検討を凍結するとの報道がありました。そこで、指定管理期間終了後の令和7年以降、委譲・廃止問題が再燃すると思われまますが、どう対処されるのかお尋ねします。

答 秋吉台国際芸術村で開催される行事等が新型コロナウイルス感染症のため制限

を受けていましたが、感染上の位置づけが5類に移行したことで、文化芸術活動が積極的に行われており、市民にとって文化振興に必要な施設となっています。ただし、市が譲渡を受けることは財政的に困難と考えており、現状のとおり、県において存続されることが望ましいと考えています。県有施設ではありますが、修繕等や利便性向上のための予算確保、また周辺自治体との連携による戦略的な施策を講じることによる長期的施設運営がなされるよう、直接、県知事に要望したところです。

3 病院事業について

問 市立2病院は、地域における基幹的な医療機関として、美祢地域の医療の確保のため、重要な役割を果たしてきていますが、医師、看護師不足等のため、多くの公立病院は医療提供体制の維持が極めて厳しくなっています。そこで、病院を取り巻く現状と今後の方向性についてお尋ねします。

答 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染患者の入院のための病床確保、受入れを行うとともに、発熱外来を設置し、感染対応にあたってきました。令和4年度決算においては、一般診療に加え、新型コロナウイルス感染症対策の中、患者数は減少したものの、新型コロナ対応に伴う国からの財政支援の影響もあり、病院事業全体として1億円程度の純利益が生じました。

今後は一般患者受入れに鋭意努力し、方向性については、総合診療地域密着型多機能病院を拠点とするネットワーク化、予防に軸足を置くことを考えています。

問 医師・看護師の確保についてお尋ねします。

答 市立病院は、令和4年4月から2名の総合診療医、令和5年10月から総合診療医の研修医1名が着任しましたが、医師に関しては山口大学からの派遣が主であり、各教室との意見交換を定期的に行っています。また、県で実施されている緊急医師確保対策枠の医師を県内のへき地公立病院へ順次配置されることも期待しています。

議員体験とまちづくりワークショップの開催

1月21日(日)に市内小・中学生10名が参加し、議員の仕事や市議会の役割を体験するとともに、本市のまちづくりについて提案を行いました。本提案は市長に提出し、報告を求めていることとしています。

参加者と提案内容については以下のとおりです。

参加者		提案内容
伊佐小学校6年	齊藤 有純	雨の日に子どもが遊べる場所が欲しい
伊佐小学校6年	山本 沙和	
大嶺小学校6年	三戸 希美	ランタンフェスタを盛り上げよう
大嶺小学校6年	篠田 唯	
大嶺小学校6年	内山 添乃	
厚保中学校1年	中嶋 里紗	美祢市の高齢者が活躍できる場づくりについて 厚保地区の高齢者施設誘致について
美東中学校2年	山本 麻陽	美祢に住みたいと思う子どもたちを
大嶺中学校2年	阿座上 郷里	美祢市の新しい交通システムの構築
大嶺中学校2年	白井 薫平	
秋芳中学校1年	品川 脩人	美祢市をより活性化させるための提案



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。
(2月13日(火)議会運営委員会において日程を決定します)

日程	時間	内容(予定)
2月20日(火)	10:00	本会議(初日)
2月26日(月)	9:30	予算決算委員会
2月27日(火)	9:30	予算決算委員会
2月29日(木)	9:30	総務企業委員会
3月1日(金)	9:30	教育民生委員会
3月4日(月)	9:30	新庁舎等建設特別委員会
〃	終了後	JR美祢線災害復旧対策調査特別委員会
3月5日(火)	10:00	本会議(一般質問)
3月6日(水)	10:00	本会議(一般質問)
3月7日(木)	10:00	本会議(一般質問)
3月12日(火)	10:00	本会議(最終日)

編集後記

私たちの任期も残すところわずかとなりました。この4年間、新本庁舎は完成しましたが、コロナ禍の中での著しい人口減少、少子化、過疎化の進行に歯止めをかけることはできませんでした。

地方自治体の選挙は、地域の皆さんが地域の各課題に対する取組などの観点から投票が行われるものです。閉塞感の延長を選ぶのか、新しい未来を目指すのか、一人一人考えていただきたいと思います。
(山中)

議会だより編集委員会

委員長 三好 睦子
副委員長 山中 佳子
委員 藤井 敏通
〃 岡村 隆
〃 田原 義寛
〃 山下 安憲
〃 石井 和幸